

平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月28日

上場会社名	ソフトブレイン株式会社	上場取引所	東
コード番号	4779	URL	http://www.softbrain.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 豊田 浩文	
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員 管理本部長	(氏名) 木下 鉄平	(TEL) 03 (6214) 1700
四半期報告書提出予定日	平成23年11月11日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	無		
四半期決算説明会開催の有無	無		

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	2,392	△4.6	259	△12.3	271	△6.2	213	64.1
22年12月期第3四半期	2,508	△15.0	296	△27.1	289	△29.1	130	△41.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	731.12	—
22年12月期第3四半期	445.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	2,252	1,599	60.6	4,668.84
22年12月期	2,159	1,335	53.4	3,939.74

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 1,365百万円 22年12月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	0.00	0.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	3.2	450	8.7	440	6.0	300	△9.4	1,025.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無： 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

23年12月期3Q	309,550株	22年12月期	309,550株
-----------	----------	---------	----------

② 期末自己株式数

23年12月期3Q	17,000株	22年12月期	17,000株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

23年12月期3Q	292,550株	22年12月期3Q	292,550株
-----------	----------	-----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ

「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから経済活動の正常化に向けた動きが見える中、深刻な欧米経済の落ち込みによる円高の影響等の要因があり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、「営業課題解決事業」を推進する当社グループは、「ツールとサービスの融合」を実現するためのSFA/CRMパッケージソフト「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売に注力してまいりました。さらに、組織営業力の強化とそれぞれの企業にあった営業プロセスを設計するための支援をするソフトブレン式営業研修「営業マン育成コンサルティング」等の組み合わせで、取引先のニーズに応えるべく取り組んでまいりました。

その他の事業として、営業支援アウトソーシング、フィールドリサーチ、調査支援アウトソーシングを提供するフィールドマーケティング事業等、「eセールスマネージャー」とともに、当社グループのサービスを提案することで、顧客のニーズに幅広く対応してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,392百万円（前年同期比4.6%減）となりました。利益面につきましては、コスト削減に努めた成果もあり、営業利益259百万円（前年同期比12.3%減）、経常利益271百万円（前年同期比6.2%減）、四半期純利益は213百万円（前年同期比64.1%増）となりました。

セグメント別に見ますと、「eセールスマネージャー関連事業」は、主力製品でもある「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売を中心に、営業マン育成コンサルティングをはじめとした教育研修事業等のサービスの販売をしてまいりました。営業の成果として、既存顧客との取引は堅調に推移したものの、東日本大震災の影響等で一部商談が停滞する案件もあり、その結果、売上高1,584百万円、営業利益173百万円となりました。

これに対し、「フィールドマーケティング事業」は、東日本大震災による顧客の宣伝広告・プロモーション活動の自粛の影響を受ける中、潜在顧客に対する営業活動を続けた成果が実を結び、業績は好調に推移しております。その結果、売上高567百万円、営業利益91百万円となりました。

その他は、MVNO事業、書籍企画販売事業を中心に、売上高339百万円、営業利益11百万円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、2,252百万円となりました。その主なる要因は、投資有価証券が48百万円、仕掛品が14百万円減少したものの、現金及び預金が67百万円、繰延税金資産が45百万円、無形固定資産が20百万円増加したためです。負債は、前連結会計年度末に比べ170百万円減少し、653百万円となりました。その主なる要因は、賞与引当金が23百万円増加したものの、短期借入金が70百万円、買掛金が27百万円、法人税の支払いに伴い未払法人税が55百万円減少したためです。純資産は、前連結会計年度末に比べ263百万円増加し1,599百万円となりました。その主なる要因は、利益の計上により利益剰余金が213百万円増加したためです。自己資本比率は、60.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ67百万円増加し、1,149百万円となりました。各キャッシュフローの増減とその要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、227百万円（前年同期は364百万円の収入）でした。これは主に税金等調整前四半期純利益264百万円、減価償却費105百万円などの増加要因と法人税等の支払による支出110百万円の減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出された資金は、89百万円（前年同期は45百万円の収入）でした。これは主に投資有価証券売却による収入44百万円の増加要因と、無形固定資産の取得による支出94百万円、有形固定資産の取得による支出35百万円などの減少要因によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出された資金は、70百万円（前年同期は200百万円の支出）でした。これは短期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年度12月期通期の業績予想につきましては、平成23年2月4日に公表いたしました平成23年12月期の連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おさください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより営業利益、経常利益は0百万円及び税金等調整前四半期純利益は7百万円減少しております。また、当会計基準適用開始により差入保証金は7百万円減少しております。

②四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,828	1,082,618
受取手形及び売掛金	402,003	399,957
商品及び製品	50,137	44,725
仕掛品	28,782	43,281
原材料及び貯蔵品	—	490
繰延税金資産	139,083	93,122
その他	96,073	68,124
貸倒引当金	△2,890	△4,080
流動資産合計	1,863,019	1,728,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,859	45,859
減価償却累計額	△26,589	△16,647
建物及び構築物(純額)	19,270	29,212
その他	240,995	266,561
減価償却累計額	△192,035	△227,102
その他(純額)	48,960	39,459
有形固定資産合計	68,231	68,671
無形固定資産		
ソフトウェア	167,222	145,296
のれん	3,677	4,618
その他	915	915
無形固定資産合計	171,815	150,830
投資その他の資産		
投資有価証券	16,449	64,504
差入保証金	42,105	50,348
破産更生債権等	35,271	35,333
繰延税金資産	85,046	90,026
その他	6,273	7,123
貸倒引当金	△35,271	△35,333
投資その他の資産合計	149,874	212,003
固定資産合計	389,921	431,504
資産合計	2,252,940	2,159,744

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,183	150,021
短期借入金	157,224	227,374
未払金	51,358	70,683
未払法人税等	23,027	78,111
未払役員賞与	—	12,578
前受金	172,679	166,132
賞与引当金	59,027	35,136
返品調整引当金	—	7,333
その他	68,013	76,811
流動負債合計	653,513	824,181
負債合計	653,513	824,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	193,112	△20,777
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	1,372,625	1,158,735
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△6,757	△6,165
評価・換算差額等合計	△6,757	△6,165
少数株主持分	233,558	182,992
純資産合計	1,599,426	1,335,563
負債純資産合計	2,252,940	2,159,744

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,508,098	2,392,185
売上原価	1,229,842	1,206,872
売上総利益	1,278,255	1,185,313
割賦販売未実現利益繰入額	1,900	—
割賦販売未実現利益戻入額	5,962	3,456
差引売上総利益	1,282,317	1,188,769
販売費及び一般管理費	986,185	929,002
営業利益	296,132	259,767
営業外収益		
受取利息	485	296
持分法による投資利益	—	1,995
補助金収入	2,839	10,797
違約金収入	1,632	—
その他	959	1,785
営業外収益合計	5,916	14,874
営業外費用		
支払利息	7,097	2,106
持分法による投資損失	3,900	—
為替差損	1,227	556
その他	0	136
営業外費用合計	12,225	2,799
経常利益	289,824	271,842
特別利益		
持分変動利益	85	—
貸倒引当金戻入額	—	2,102
特別利益合計	85	2,102
特別損失		
固定資産除却損	313	2,040
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,931
特別損失合計	313	8,972
税金等調整前四半期純利益	289,596	264,971
法人税、住民税及び事業税	63,584	38,781
法人税等調整額	72,166	△40,980
法人税等合計	135,751	△2,198
少数株主損益調整前四半期純利益	—	267,169
少数株主利益	23,531	53,280
四半期純利益	130,313	213,889

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	801,665	773,089
売上原価	407,127	393,509
売上総利益	394,538	379,579
割賦販売未実現利益戻入額	1,162	1,162
差引売上総利益	395,700	380,742
販売費及び一般管理費	320,026	301,463
営業利益	75,673	79,278
営業外収益		
受取利息	236	129
持分法による投資利益	6,854	0
補助金収入	2,057	3,862
違約金収入	1,518	—
その他	—	493
営業外収益合計	10,665	4,485
営業外費用		
支払利息	1,410	641
為替差損	1,283	105
その他	96	0
営業外費用合計	2,790	746
経常利益	83,548	83,017
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	812
特別利益合計	—	812
特別損失		
固定資産除却損	—	1,930
特別損失合計	—	1,930
税金等調整前四半期純利益	83,548	81,899
法人税、住民税及び事業税	27,408	15,532
法人税等調整額	7,585	△14,648
法人税等合計	34,994	884
少数株主損益調整前四半期純利益	—	81,014
少数株主利益	8,089	14,504
四半期純利益	40,464	66,510

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	289,596	264,971
減価償却費	97,072	105,590
のれん償却額	5,675	449
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△192,907	△1,252
長期前払費用償却額	1,224	1,188
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,361	11,313
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△5,475	△7,333
受取利息及び受取配当金	△485	△296
支払利息	7,097	2,106
持分法による投資損益 (△は益)	3,900	△1,995
有形固定資産除却損	313	2,040
持分変動損益 (△は益)	△85	—
売上債権の増減額 (△は増加)	53,621	△2,215
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,203	9,505
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,535	△27,827
その他	176,054	△16,685
小計	474,702	339,560
利息及び配当金の受取額	485	296
利息の支払額	△5,793	△2,106
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△69,522	△110,130
移転費用の支払額	△35,385	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,486	227,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,860	△35,206
無形固定資産の取得による支出	△42,822	△94,342
投資有価証券の取得による支出	—	△5,440
投資有価証券の売却による収入	—	44,876
子会社株式の取得による支出	△43,092	—
差入保証金の差入による支出	△510	△125
差入保証金の回収による収入	138,708	452
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,423	△89,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	△70,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,000	△70,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,136	△625
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	207,773	67,209
現金及び現金同等物の期首残高	945,048	1,082,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,152,822	1,149,828

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

前連結グループはインターネットを用いた法人向けのソリューションである、コンサルティングとシステム構築、パッケージソフトウェアの開発・販売等を事業内容としており、情報サービス単一セグメントのため事業の種類別セグメント情報を記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは取り扱う製品、サービス別に事業活動を展開しており、「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」の2つを報告セグメントとしております。「eセールスマネージャー関連事業」は、主にソフトウェアのライセンス販売、カスタマイズ開発及び教育研修等のサービスを販売しており、「フィールドマーケティング事業」は、主にフィールド活動業務、マーケット調査等のサービスを販売しております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービス種類は、下表のとおりであります。

報告セグメント	主要商品
eセールスマネージャー関連事業	ソフトウェアのライセンス、Cloudサービス コンサルティング、カスタマイズ開発、教育研修
フィールドマーケティング事業	フィールド活動業務、マーケット調査、人材派遣

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,572,194	520,670	2,092,864	299,321	2,392,185	—	2,392,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,529	47,271	59,801	39,742	99,544	△ 99,544	—
計	1,584,724	567,942	2,152,666	339,063	2,491,730	△ 99,544	2,392,185
セグメント利益	173,799	91,827	265,626	11,023	276,650	△ 16,883	259,767

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、MVNO事業、書籍企画販売事業、採用支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△16,883千円には、セグメント間取引消去△2,334千円、のれん償却△449千円、固定資産の調整額△14,099千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。